

**観察  
調査活動****グリーンウォッチング****36****1 活動のねらい**

樹木の特徴を題材にした問題を解いていくハイキングゲームを通して、身近な生活と樹木との関係を知ります。

**2 育てたい能力**

B2 自然への関心      A4 交友・協調      A2 積極性

※Aは心理的・社会的能力 Bは徳育的能力 Cは身体的能力 詳細は別紙参照

**3 活動場所**

- ・自然の家周辺、ほおのきの道

**4 活動時期**

通年

**5 所要時間**

2～3時間

**6 指導形態**

団体の引率者が指導者となって行う活動

**7 準備物**

【団体・個人で準備するもの】

- ・筆記用具    ・活動に適した服装    ・軍手    等

【自然の家で貸し出しできるもの】

- ・コース地図    ・課題用紙    ・図鑑    ・熊鈴
- ・無線機1台（自然の家と団体との緊急連絡用）    ・バインダー

**8 活動の手順****(1) 事前**

- ①プログラム担当職員と打ち合わせを行い、実地踏査で現地  
の状況を把握した上で計画を立てます。
- ②引率者の役割分担および参加者の班編成・係分担を明確にし、協力して安全に実施  
できるようにします。
  - ・本部：全体指揮、自然の家との連絡
  - ・スタート、ゴール係：用具の準備と後始末、記録等
  - ・パトロール係：コースの巡回、安全確保等
- ③安全確保のため、服装や装備についての事前指導を行います。
- ④グループ編成をしておきます。1つのグループは6～8名程度が望ましいです。

## (2) 活動

①出発にあたって、自然の家事務室に報告し、用具を借ります。



②人数確認、服装・装備・持ち物の点検、健康状態のチェックをします。



③活動のねらいや注意点を説明します。



④コースが混雑しないように、グループごとに間隔をおいて出発させてください。

⑤Q1はコース中、10の樹木に番号札が設置してあります。地図を見ながら番号札の付いている樹木を探し、ヒントをもとに問題用紙に樹木名や気づいたことを記入していきます。



※必修問題

⑥Q2、Q3は「ネイチャービンゴ」として、視覚に焦点をあてた問題と触覚に焦点をあてた問題です。※選択問題

⑦全員ゴールしたら、答え合わせをします。答えには、その樹木に関する追加問題もついています。団体の意向にそって自由にお使いください。



⑧自然の家事務室に活動終了の報告をし、借用物品を返却します。

## (3) 事後

①感想発表等を行い、活動を振り返ります。



## 9 留意点

- 解答用紙には点数が記入できるようになっていますので、団体独自にランキングを付けることも可能です。
- 樹木を傷つけないでください。ゴミは必ず持ち帰る等のフィールドマナーを守ってください。
- 時間を競う活動ではないので、各グループのペースで活動してください。
- 樹木だけでなく、五感を使って自然にある色や形状、昆虫や鳥等といった様々なことにも目を向けさせましょう。
- うるしに触るとかぶれる場合もあるので注意してください。